

# 資料編

※本文中の「＊」マークの箇所を掲載順にまとめる。

- 遠隔教育

「オンライン教育」や「eラーニング」など、位置的に離れている人たちが通信技術を使って教育活動を行うこと。

- テレワーク

「在宅勤務」や「モバイルワーク」など、情報通信技術（ICT）を活用した時間や場所にとられない柔軟な働き方のこと。

- AI

Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

- DX

デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略。進化したデジタル技術（クラウドサービスや人工知能（AI）など）を活用・浸透させることで、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変革すること。

- 少子・超高齢化社会

出生率の低下やそれにともなう家庭や社会における子どもの数が低下傾向にある（少子化）一方で、高齢化も進展して高齢化率が21%を超えた（超高齢化）社会のこと。

- 合計特殊出生率

15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が、仮に、その年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

- 関係人口

特定の地域に住んでいなくても、その地域と継続的・多様な形で関わる人々のこと。

- ウェルビーイング

世界保健機関憲章の前文において「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にある」と定義されている。

- GDP

国内総生産（Gross Domestic Product：GDP）。支出面から推計した場合、家計、対家計民間非営利団体及び政府の最終消費支出に総資本形成及び輸出入収支を加えた総価値と定義されている。

- 耕作放棄地

農林水産省が5年ごとに実施している「農林業センサス」の用語であり、「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け（栽培）せず、この数年間の間に再び作付け（栽培）する意思のない土地」と定義されている。

- 保健休養

森林浴やハイキングなどの森林レクリエーションをすることによって、安らぎを得たり、心身の緊張をほぐしたりする効果のこと。

- 水源かん養

大雨が降った時の急激な増水を抑え（洪水緩和）、しばらく雨が降らなくても流出が途絶えないようにする（水資源貯留）など、水源山地から河川に流れ出る水量や時期に関わる機能のこと。

- 健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの財政指標の総称。地方公共団体は、この健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準又は財政再生基準以上となった場合には、財政健全化計画又は財政再生計画を策定し、財政健全化団体又は財政再生団体として、財政の健全化を図らなければならない。健全化判断比率は、財政の早期健全化等の必要性を判断するものであるとともに、他団体と比較することなどにより、当該団体の財政状況を客観的に表す意義を持つ。

- 財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

- 実質公債比率

当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額※に対する比率。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。地方公共団体財政健全化法の実質公債費比率は、起債に協議を要する団体と許可を要する団体の判定に用いられる地方財政法の実質公債費比率と同じ。

※標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額。

- 経常収支比率

経常的な収入のうち、義務的経費などの支出に使われる費用の割合を表す指標。この比率が高いほど、財政構造の硬直化が進んでいるといえる。

- 幹線道路

全国的、地域的あるいは都市内において、骨格的な道路網を形成する道路。通常、広幅員・高規格の道路であることが多い。

- 滞在型観光

1箇所に滞在し静養や体験型を始めとしたレジャーを楽しむこと。またはそこを拠点に周辺の観光を楽しむレジャー形態のこと。

- 健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

- 成果指標

政策目的の達成度を測り、成果指標の達成＝政策目的の達成と考えることができるもの。

- K P I

Key Performance Indicator（重要業績評価指標）の略式表記。目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標のこと。

- 景観間伐

植栽木相互の光環境をめぐる競争を管理するため、樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採し、残存木の成長を促進する作業。過密になった林分では、間伐することで林床に光を入れて林床植物の生育を促し、土壌保全や土砂災害防止等の機能を高める目的で実施される。

- 二拠点居住

主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点（ホテル等も含む。）を設け、一時的ではなく、年間通して一定期間以上を過ごすこと。

- デマンドバス

基本路線上ではない場所に利用者がいる場合に迂回ルートを走行するなど、需要に応じて弾力的な運行サービスを行うバスのこと。

- 蓄電池

放電に加えて充電が可能で、繰り返し使用することができる電池のこと。

- 自主防災組織

災害発生時の市民相互の助け合いの精神による自主的な防災活動を推進するために、村内会や自治会などを単位として自主的に結成された組織のこと。

- ALT

Assistant Language Teacher（外国語指導助手）の略式標記。外国語活動、外国語科の授業において、ティームティーチングを行う。

- フレイル

高齢者の筋力や活動量が低下している状態で、健康な状態と要介護状態の中間の段階。活動には移動や運動能力、認知機能、栄養状態、持久力、日常生活の活動性など広範な要素が含まれている。フレイルになっても機能訓練など専門的サービスを受けることにより、再び健康な状態に戻る可能性があると考えられる。

- ADL

Activities of Daily Living（日常生活動作）の略式表記。毎日の生活を送る上で必要な、日々繰り返される基本的な身体動作群のこと。

- 地域包括ケアシステム

保健・医療及び介護を含む福祉サービスを、地域住民・関係者が連携・協力して一体的に提供する仕組みのこと。

- 公債費

地方自治体が借り入れた地方債の元金の償還（返済）及び利子の支払いに要する経費。

- U・Iターン

「Uターン」とは、生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること。「Iターン」とは、生まれ育った故郷から進学や就職を機に故郷にはない要素を求めて、故郷とは別の地域に移住すること。

- 出生率

人口千人に対する出生数の割合のこと。

- 生産年齢人口

総務省統計局の「年齢3区分別人口」に基づき分類される、15歳から64歳までの人口のこと。なお、0歳から14歳までを「年少人口」、65歳以上を「老年人口」という。

- 地域おこし協力隊

地方自治体が都市住民を地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事してもらいながら、当該地域への定住・定着を図る取組のこと。

- 遊休農地

現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地のこと。もしくは、その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し著しく劣っていると認められる農地のこと。

- 林政アドバイザー

市町村や都道府県が、森林・林業に関して知識や経験を有する者を雇用（又は技術者が所属する法人等に事務を委託）することを通じて、市町村の森林・林業行政の体制支援を図るもの。